

大会の参加に当たって

- (1) 各所在地の自治体や学校・職場から、移動制限等の要請が出ていないか、最終確認を行うこと。
- (2) 本連盟ホームページの2022年8月15日付「新型コロナウイルス感染拡大時における水泳競技会出場について（再通知）」を確認した上で、参加すること。
- (3) 入館前7日間において、以下の事項に該当する場合は、入館できない。出発前に入館者全員に該当しないか確認しておくこと。
 - ・ 平熱を超える発熱
 - ・ 咳（せき）、のどの痛みなどの風邪の症状
 - ・ だるさ（倦怠感）息苦しさ（呼吸困難）
 - ・ 嗅覚や味覚の異常
 - ・ 体が重たく感じる、疲れやすい等の症状
 - ・ 新型コロナウイルス感染症陽性とされた者との濃厚接触がある場合
- (4) 入館前14日以内に、政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航または当該在住者との濃厚接触がある場合は、入館できない。
- (5) 「健康チェック表」を入館者全員が持参しているか確認すること。提出できない場合は入館できない必ず責任者が、選手ならびに来場者の健康状態を確認し、確認欄に押印またはサインをすること。宿泊を伴う場合は、当日の検温ができるように各自の体温計を持参しておくこと。
- (6) 厚生労働省から提供を受けている、新型コロナウイルス接触確認アプリ（COCOA）を活用できるよう準備する。COCOAを入れている場合は、電源をONにした上でBluetoothを有効にすること。
- (7) マスクを着用していない者は入館を認めない。館内では、泳ぐとき以外はマスクを着用すること。招集所内でもマスクを着用し、会話を控えること。入場準備の際はマスクをはずしてもよい。招集所でははずしたマスクは、服のポケットか袋に入れること。
- (8) コーチは、練習時の大きな声での指示、ホイッスルの使用を控えること。レース・練習後のマスクをしていない選手との会話では、マスクに加えフェイスシールド、またはアイガード・ゴーグルを着用し、目からの飛沫感染も防ぐこと。
- (9) 入館から退館時までの全ての場面で、人との距離（2m以上）をとって行動すること。
- (10) レース終了後、ミックスゾーンの通過時、サブプールまでの移動中は、マスクを着用すること。すぐにマスクを着用できない場合は、ミックスゾーンの手前で、呼吸を整えてから着用すること。
- (11) 唾や痰をプールサイドに吐かないこと。（レース直前のスタート台付近や、サブプールでの練習時）
- (12) 食事は、選手控え場所・観覧席のみで、人との距離（2m以上）を保ち単独で取ること。
- (13) 会場までの交通機関内で、マスクの着用、人との距離、座席間の距離、車内換気、会話などに留意すること。
- (14) 以下のものについては、持ち込み禁止とする。
 - ・ チーム共有のドリンクサーバー、アイシングバス
 - ・ メガホン、横断幕、のぼり
 - ・ チーム共有のストレッチマット、チューブ、バランスボール、トレーニングバイク等の運動用具（個人専用は持ち込み可）
 - ・ メインプールへのパドル・コード類（サブプールは可）

第64回日本選手権(25m)水泳競技大会 二次要項

公益財団法人 日本水泳連盟
実行委員長 鈴木 浩二

1 公式練習日について

(1) 日程

10月21日(金) 11:00~18:00

(2) 「健康チェック表」の提出について

- ①日水連ホームページからダウンロードした「健康チェック表」に、事前に必要事項を記入すること。
- ②健康チェック表の体温・体調については、入場2日前、1日前、当日の3日分を記載すること。
- ③回収した「健康チェック表」は返却しないので、記載内容を写真等で保管すること。
- ④公式練習日、大会期間中とも、外出の際は「外出証」を受け取ること。外出後に再入場する際は、入場口での検温を行うが、上記の用紙の提出は必要ない。

(3) 選手受付・ADカード(選手・付き添い)について

10月21日(金) 11時から選手受付を開始し、ADカードの配布、監督者会議資料等を配布する。付き添者へのADカードの発行は、大会ホームページを確認すること。ADカードは、選手受付時に配布するので、事前に申請を完了すること。有償ADカードの払い戻しは、インフォメーションデスクで行う。

(4) 監督者会議

10月21日(金) 15:00~ (東京辰巳国際水泳場:観客席)

(5) 公式スタート練習

公式練習日・大会当日とも行わない。

(6) 食事について

感染予防のため、観客席・チームエリアで人との距離を保ち、会話を控えて単独で取ること。

(7) 駐車場について

大会日を含め、駐車場は、東京辰巳国際水泳場の隣接駐車場(有料100台)のみとなります。会場に隣接する全ての道路は駐車禁止のため、公共交通機関の利用について周知徹底を願います。

2 館の使用について(10月21日~23日)

- (1) 選手席・チームエリアは、公式練習日から使用できる。選手席のテーピングをした座席は使用できない。
- (2) ダイビングプール周辺、サブプールのスロープ、サブプールのプールサイド等は場所取り禁止とする。
- (3) マッサージ台は、2階チームエリアに設置できる。
- (4) 荷物は、入館日から10月23日まで、チーム席に近い観覧席の車いすスペースに置くことができる。
- (5) サブプールのプールサイドは、練習時の荷物置き場とする。マッサージ行為は禁止する。
- (6) 更衣室は更衣のみの使用とし、ロッカーは使用できない。更衣室を控え場所としたり、食事をすることはできない。
- (7) クラブ関係者は、競技開始1時間前から、2階観客席入口から入場できる。(一般入場はなし)

3 昼休みの練習について

メインプールでの昼休みの練習は、決勝出場者のみとする。

4 申し込み状況(9月28日現在)

参加団体229 参加選手532名(男子292名・女子240名)種目数964種目(男子499種目・女子465種目)

5 日程

期 日	事 項	開門時間	予選競技		決勝競技		閉門時間
			開始時間	終了予定	開始時間	終了予定	
10月21日(金)	公式練習日	11:00	練習時間 11:00 ~ 18:00				18:15
10月22日(土)	1日目	7:30	10:00	12:30	14:00	18:20	19:05
10月23日(日)	2日目	7:30	10:00	11:40	14:00	17:10	17:55

6 プログラム・スタートリスト

プログラム（2日間の予選スタートリスト掲載）は1部2,000円、決勝スタートリストは1部200円で販売する。

7 棄権の届け出

届け出用紙に記入し、予選は当該競技当日の予選競技開始20分前（9:40）までにリゾリユーションデスクに届け出ること。決勝を棄権する場合は、その予選競技終了後1時間以内に、棄権料3,000円を添えてリゾリユーションデスクに届け出ること。（無断で棄権した場合は、罰金3,000円を徴収する）

8 インタビュー

- (1) 予選競技・決勝競技とも、ミックスゾーンでインタビューを行う。
- (2) 決勝競技の優勝者は、各競技終了後に、テレビ朝日によるフラッシュインタビューを行う。

9 表彰式

- (1) 1位から3位にメダル・賞状を授与し表彰する。4位から8位に賞状を授与する。
- (2) IDカードによる記録証の発行は、選手受付で行う。
- (3) 最終競技終了後、JOC杯授与式を行う。

10 ドーピングコントロール同意書

大会当日18歳未満の参加者は、18歳未満競技者親権者同意書（JADA）を必要とする。

11 テレビ放映およびインターネット配信

- (1) テレビ朝日放送予定
- (2) YouTubeにて、2日間の全競技をLIVE配信する。

12 競技結果

競技結果を、下記の公式サイトで確認することができる。

- (1) SEIKO競泳リザルト速報サービス (<http://swim.seiko.co.jp/>)
- (2) 日本水泳連盟公認モバイルサイト「スイムレコードモバイル」 (<http://sp.j-swim.jp/>)

連絡事項

その他資料は、整い次第公開しますので、引き続きホームページを確認してください。